

平成29年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成29年7～9月期）の業況判断D Iは (-)57.5 で、前期（平成29年4～6月期）(-56.7)に比べ、0.8ポイントの悪化。

② 来期の見通し

来期（平成29年10～12月期）の業況見通しD Iは (-)52.3 で、今期の業況判断(-57.5)に比べ、5.2ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 -調査産業計-

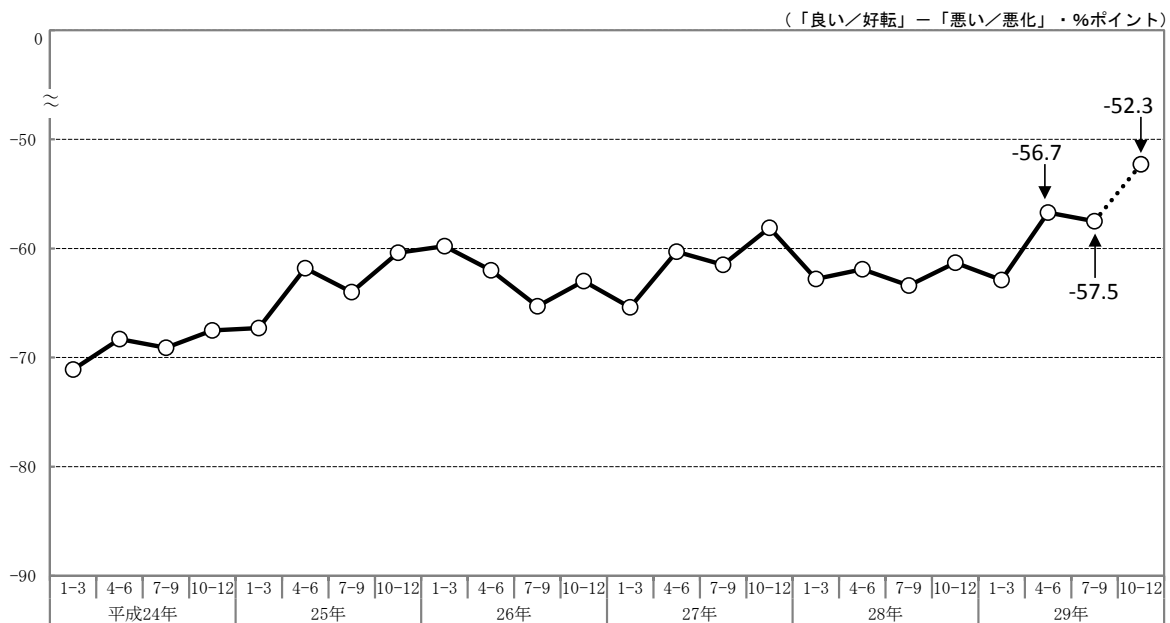


表1 業況判断の割合 -調査産業計-

	平成28年		29年			
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	3.1	3.4	3.4	3.1	3.5	3.8
普通/不変	30.4	31.9	30.4	37.1	35.5	40.1
悪い/悪化	66.5	64.7	66.3	59.8	61.0	56.1
D I	-63.4	-61.3	-62.9	-56.7	-57.5	-52.3

参考	日銀短観(大企業全産業計)					
	12	14	16	20	23	19
中小企業景況調査(全産業計)	-27.0	-26.9	-28.7	-21.5	-21.9	-8.1

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成29年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	243万1000円で、前年同期に比べ、16.2%の増加
□「卸売業、小売業」は	364万8000円で、前年同期に比べ、0.3%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	224万5000円で、前年同期に比べ、6.5%の増加
□「サービス業」は	118万9000円で、前年同期に比べ、4.4%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	56万9000円で、前年同期に比べ、1.9%の減少
□「卸売業、小売業」は	44万6000円で、前年同期に比べ、14.9%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	44万3000円で、前年同期に比べ、6.0%の増加
□「サービス業」は	45万円で、前年同期に比べ、5.4%の増加

※前年同期(平成28年7～9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成27年 7～9月期	2,310	675	3,609	366	2,203	368	1,215	446
	10～12月期	2,379	644	4,065	484	2,312	470	1,285	471
	平成28年 1～3月期	2,293	685	3,566	353	2,253	418	1,134	379
	4～6月期	2,165	613	3,659	330	2,084	366	1,156	421
	7～9月期	2,092	580	3,638	388	2,107	418	1,139	427
	10～12月期	2,558	688	3,821	405	2,120	387	1,200	427
	平成29年 1～3月期	2,328	605	3,320	287	2,014	372	1,131	377
4～6月期	2,478	641	3,621	385	2,109	409	1,242	496	
7～9月期	2,431	569	3,648	446	2,245	443	1,189	450	
前年同期比 (%)	平成27年 7～9月期	-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0
	10～12月期	-2.7	-2.1	-7.3	-5.3	7.5	11.4	-1.2	-1.9
	平成28年 1～3月期	5.1	15.1	-1.0	-10.4	10.3	12.1	-7.6	-4.1
	4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2
	7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3
	10～12月期	7.5	6.8	-6.0	-16.3	-8.3	-17.7	-6.6	-9.3
	平成29年 1～3月期	1.5	-11.7	-6.9	-18.7	-10.6	-11.0	-0.3	-0.5
4～6月期	14.5	4.6	-1.0	16.7	1.2	11.7	7.4	17.8	
7～9月期	16.2	-1.9	0.3	14.9	6.5	6.0	4.4	5.4	

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	11万円で、前年同期(16万9000円)に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	6万3000円で、前年同期(5万6000円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	7万2000円で、前年同期(17万7000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	3万3000円で、前年同期(3万6000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	4.5%で、前年同期(8.1%)に比べ、3.6ポイントの低下
□「卸売業、小売業」は	1.7%で、前年同期(1.5%)に比べ、0.2ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	3.2%で、前年同期(8.4%)に比べ、5.2ポイントの低下
□「サービス業」は	2.8%で、前年同期(3.2%)に比べ、0.4ポイントの低下

※前年同期(平成28年7～9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成27年	7～9月期	135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7
	10～12月期	93	3.9	81	2.0	62	2.7	71	5.5
平成28年	1～3月期	70	3.1	53	1.5	55	2.4	72	6.3
	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3
7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2	
	10～12月期	64	2.5	93	2.4	84	4.0	47	3.9
平成29年	1～3月期	121	5.2	46	1.4	46	2.3	43	3.8
	4～6月期	79	3.2	54	1.5	64	3.0	66	5.3
7～9月期	110	4.5	63	1.7	72	3.2	33	2.8	

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成29年7～9月期）の業況判断D Iは（-）57.5 で、前期（平成29年4～6月期）（-56.7）に比べ、0.8ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）45.4 で、前期（-40.0）に比べ、5.4ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成28年7～9月期）と比較した業況判断D Iは（-）50.1 で、前期（-49.3）に比べ、0.8ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成29年10～12月期）の業況見通しD Iは（-）52.3 で、今期の業況判断（-57.5）に比べ、5.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 -調査産業計-

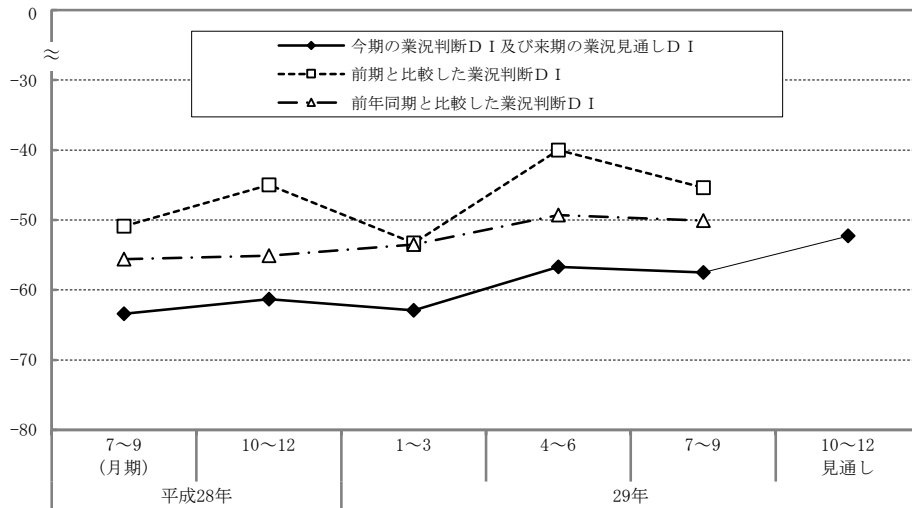
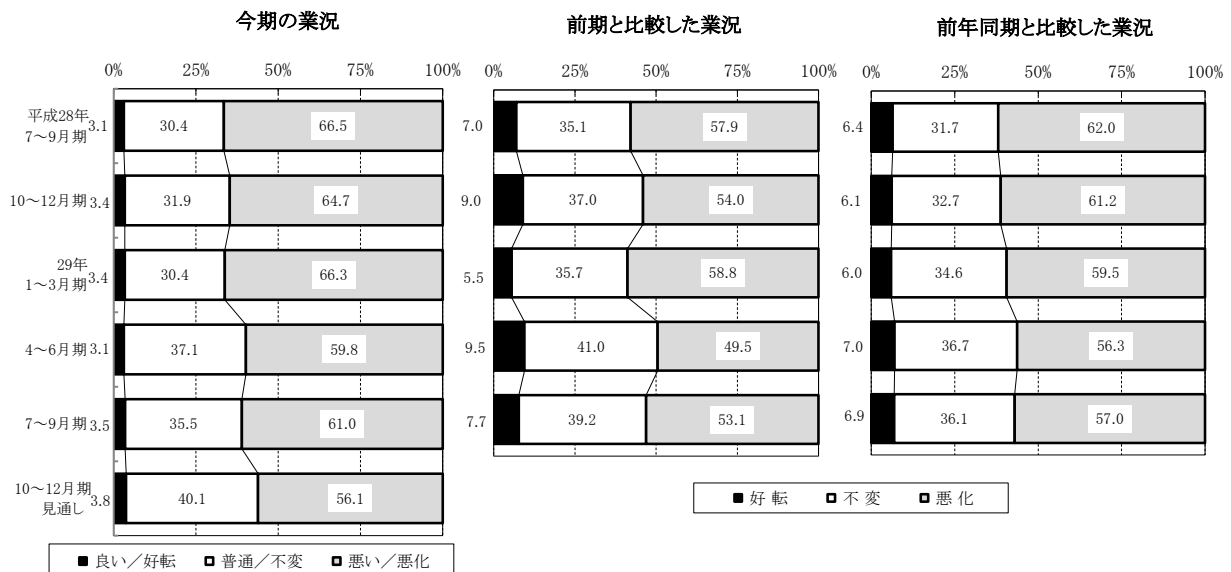


図3 業況判断の割合 -調査産業計-



(2) 売上の状況

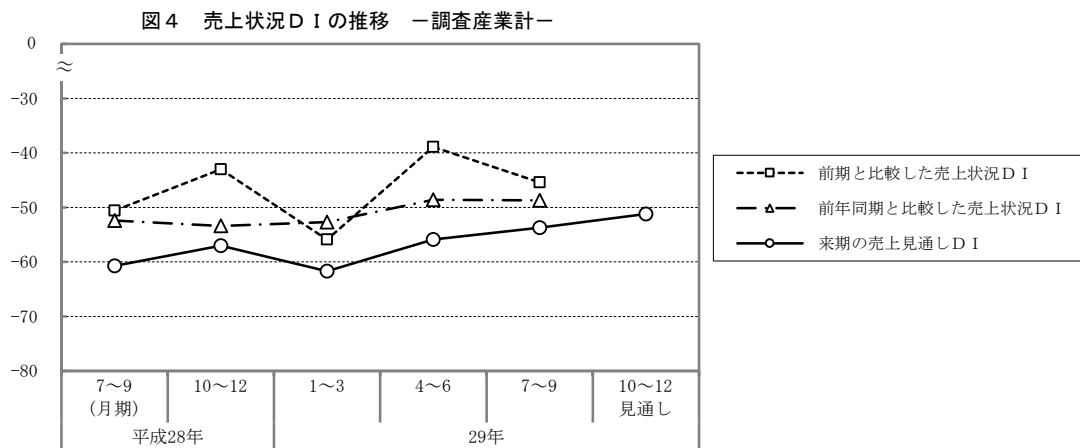
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)45.4 で、前期 (-38.9) に比べ、6.5 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)48.7 で、前期 (-48.6) に比べ、0.1 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)51.2 で、前期における今期の売上見通し (-53.7) に比べ、2.5 ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

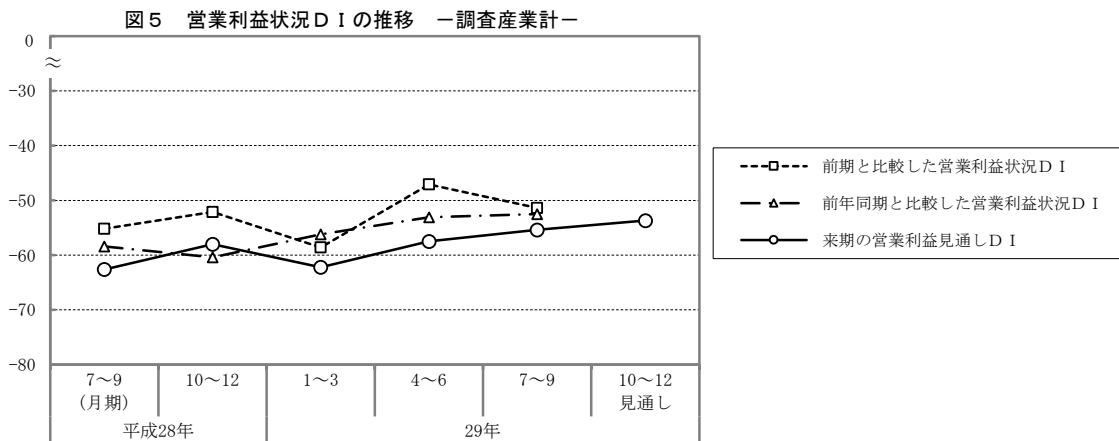
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)51.4 で、前期 (-47.1) に比べ、4.3 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)52.5 で、前期 (-53.1) に比べ、0.6 ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

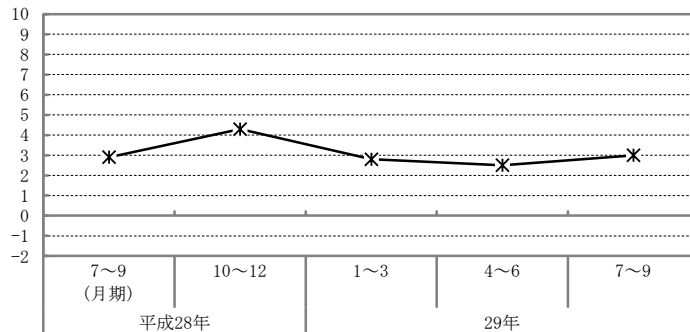
来期の営業利益見通しDIは (-)53.7 で、前期における今期の営業利益見通し (-55.4) に比べ、1.7 ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.0 で、前期 (+2.5) に比べ、0.5 ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

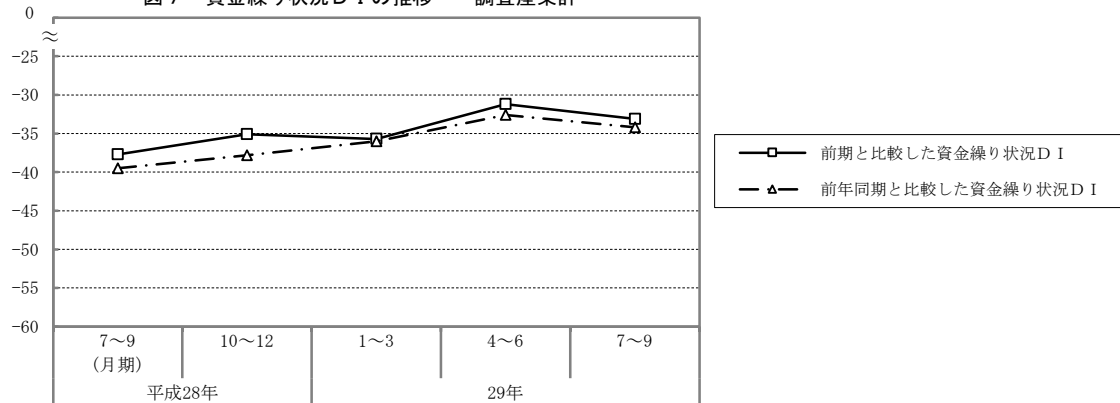


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.1 で、前期 (-31.2) に比べ、1.9 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.2 で、前期 (-32.6) に比べ、1.6 ポイント悪化した。

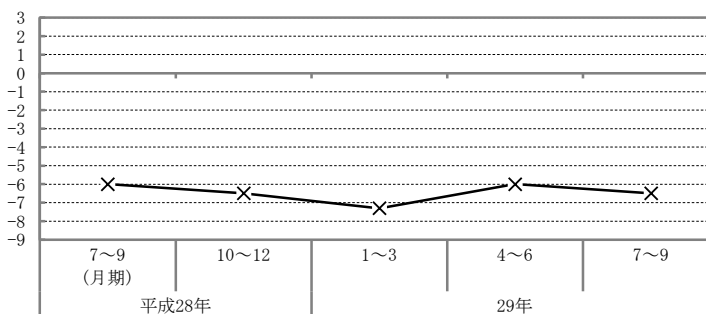
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.5 で、前期 (-6.0) に比べ、0.5 ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成29年7～9月期）の業況判断DIは(-)53.1で、前期（平成29年4～6月期）(-52.9)に比べ、0.2ポイント悪化した。

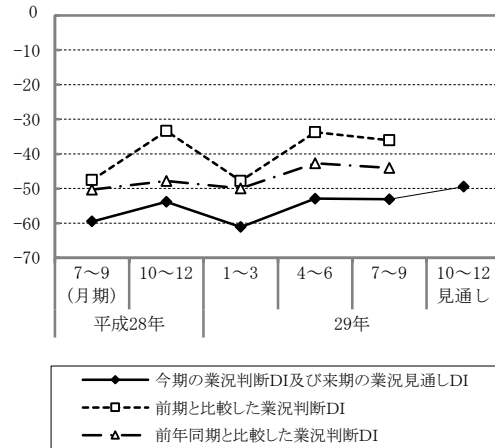
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)36.1で、前期(-33.7)に比べ、2.4ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成28年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)44.0で、前期(-42.7)に比べ、1.3ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成29年10～12月期）の業況見通しDIは(-)49.5で、今期の業況判断(-53.1)から、3.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

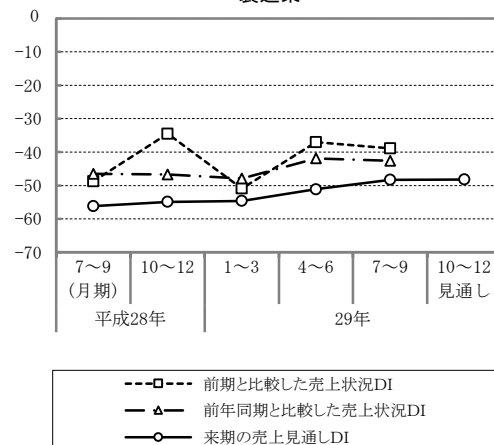
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)38.9で、前期(-37.0)に比べ、1.9ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)42.6で、前期(-41.9)に比べ、0.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)48.2で、前期における今期の売上見通し(-48.3)から、0.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

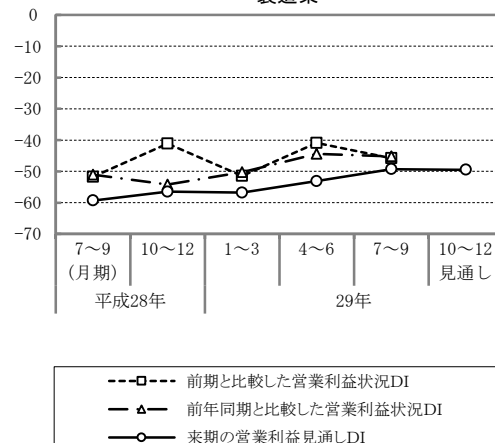
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)45.8で、前期(-40.9)に比べ、4.9ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)45.2で、前期(-44.4)に比べ、0.8ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)49.5で、前期における今期の営業利益見通し(-49.3)に比べ、0.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.6 で、前期 (+2.3) に比べ、1.3 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.6 で、前期 (-29.7) に比べ、0.1 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.4 で、前期 (-30.2) に比べ、0.8 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)4.4 で、前期 (-4.8) に比べ、0.4 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

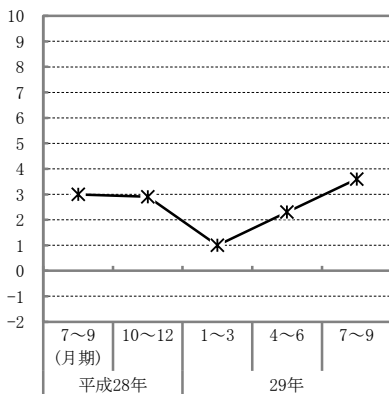


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

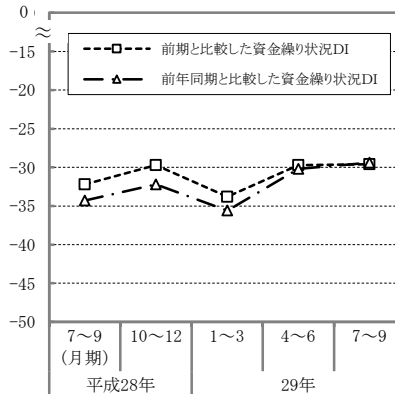
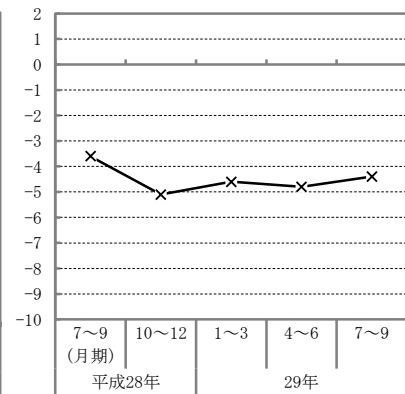


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期 (平成29年7~9月期) の業況判断DIは (-)59.5 で、前期 (平成29年4~6月期) (-60.6) に比べ、1.1 ポイント改善した。

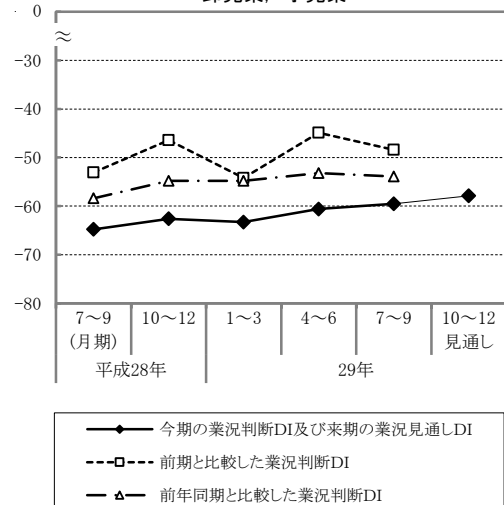
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)48.4 で、前期 (-44.9) に比べ、3.5 ポイント悪化した。

ウ 前年同期 (平成28年7~9月期) と比較した業況判断DIは (-)53.9 で、前期 (-53.2) に比べ、0.7 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期 (平成29年10~12月期) の業況見通しDIは (-)57.9 で、今期の業況判断 (-59.5) に比べ、1.6 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

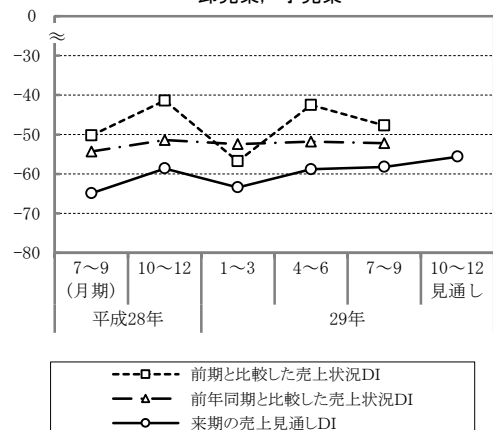
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)47.7で、前期(-42.5)に比べ、5.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)52.2で、前期(-51.8)に比べ、0.4ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)55.6で、前期における今期の売上見通し(-58.2)に比べ、2.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

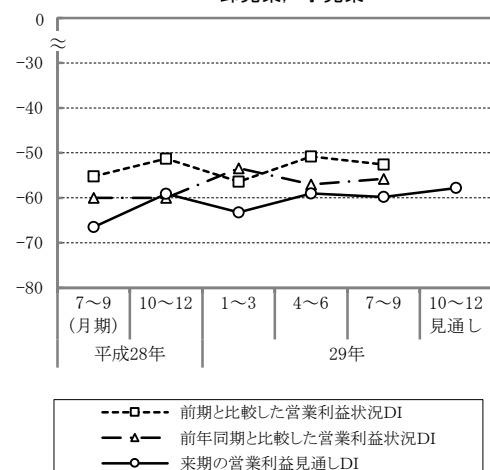
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.6で、前期(-50.8)に比べ、1.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)55.8で、前期(-57.0)に比べ、1.2ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)57.8で、前期における今期の営業利益見通し(-59.8)に比べ、2.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)4.5で、前期(+4.5)から横ばいとなった。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)35.3で、前期(-32.9)に比べ、2.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)36.9で、前期(-33.5)に比べ、3.4ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.7で、前期(-5.1)に比べ、0.6ポイント「不足」が拡大した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

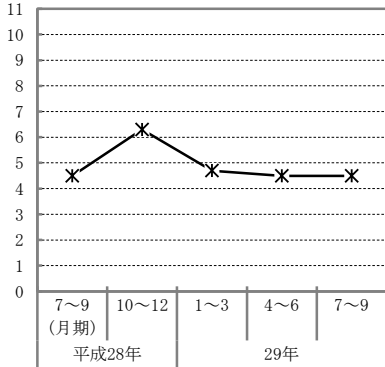


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

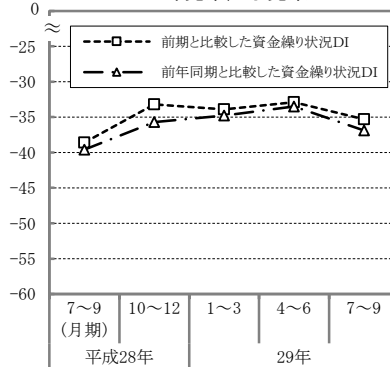
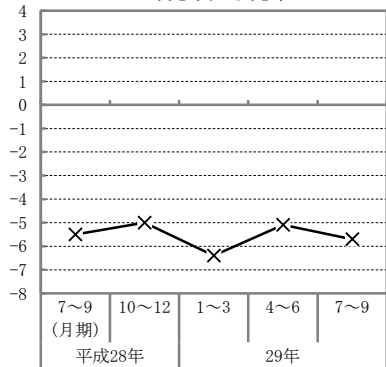


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成29年7～9月期）の業況判断DIは(-)57.7で、前期（平成29年4～6月期）(-52.4)に比べ、5.3ポイント悪化した。

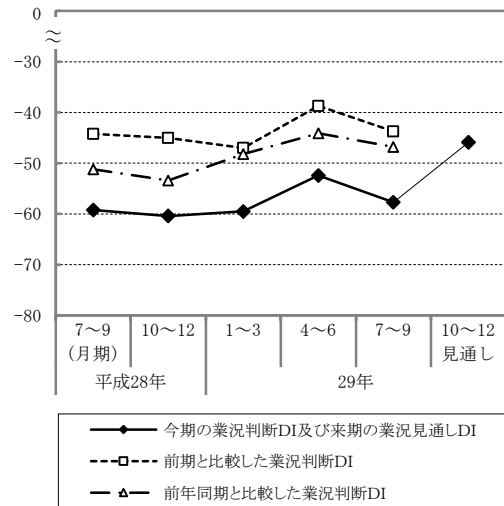
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)43.7で、前期(-38.7)に比べ、5.0ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成28年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)46.8で、前期(-44.1)に比べ、2.7ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成29年10～12月期）の業況見通しDIは(-)45.9で、今期の業況判断(-57.7)に比べ、11.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

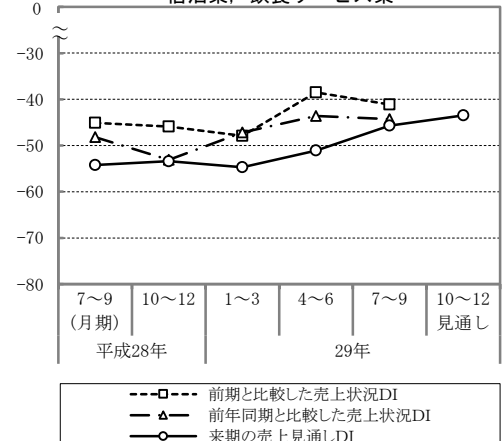
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)41.1で、前期(-38.5)に比べ、2.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)44.3で、前期(-43.6)に比べ、0.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)43.5で、前期における今期の売上見通し(-45.7)に比べ、2.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

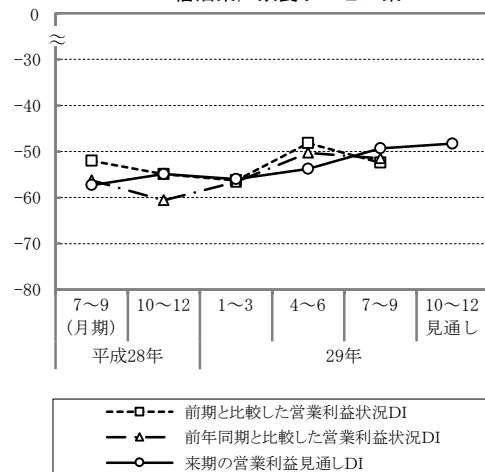
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)52.4 で、前期 (-48.2) に比べ、4.2 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)51.5 で、前期 (-50.3) に比べ、1.2 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)48.3 で、前期における今期の営業利益見通し (-49.3) に比べ、1.0 ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.5 で、前期 (+0.8) に比べ、0.7 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.9 で、前期 (-34.4) に比べ、1.5 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.7 で、前期 (-36.6) に比べ、0.9 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)9.0 で、前期 (-9.8) に比べ、0.8ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

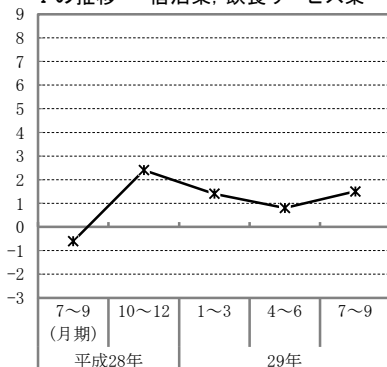


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

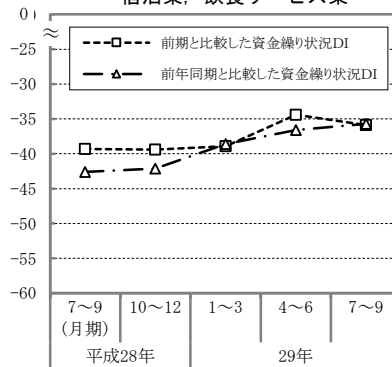
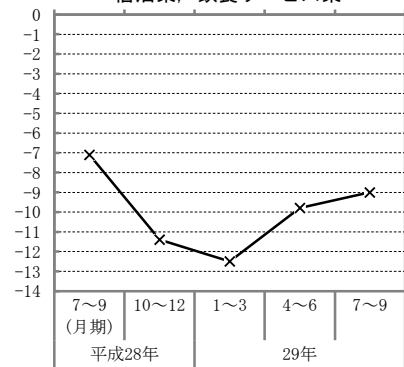


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成29年7～9月期）の業況判断DIは(-)56.4で、前期（平成29年4～6月期）(-55.7)に比べ、0.7ポイント悪化した。

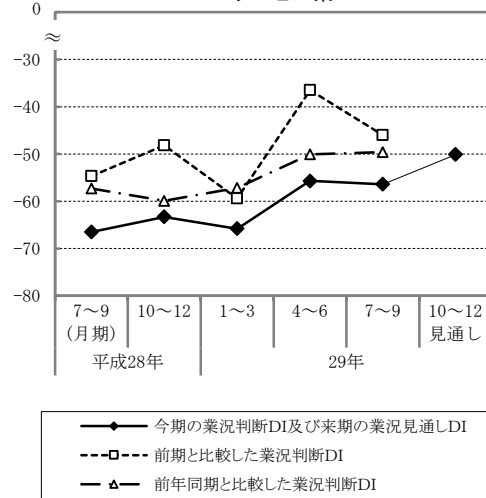
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)46.0で、前期（-36.5）に比べ、9.5ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成28年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)49.6で、前期（-50.1）に比べ、0.5ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成29年10～12月期）の業況見通しDIは(-)50.1で、今期の業況判断（-56.4）に比べ、6.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

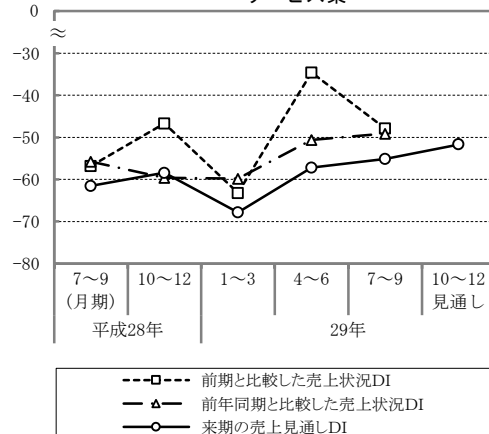
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)47.9で、前期（-34.6）に比べ、13.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)49.1で、前期（-50.6）に比べ、1.5ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.7で、前期における今期の売上見通し（-55.1）に比べ、3.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

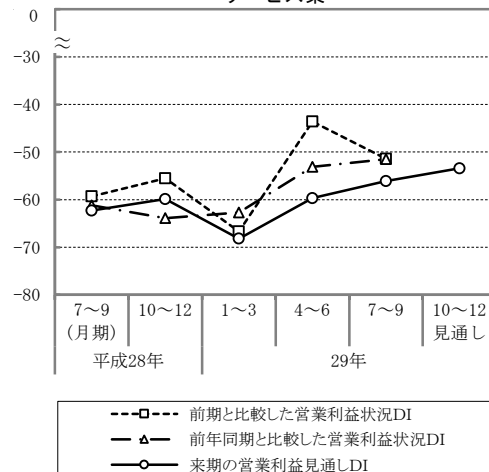
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)51.4で、前期（-43.6）に比べ、7.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)51.5で、前期（-53.1）に比べ、1.6ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)53.4で、前期における今期の営業利益見通し（-56.1）に比べ、2.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.5 で、前期 (+0.7) に比べ、0.8ポイント「過剰」が拡大した。

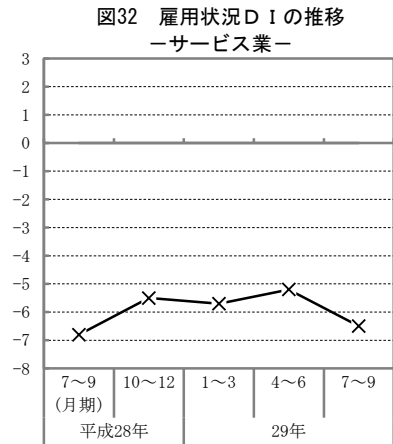
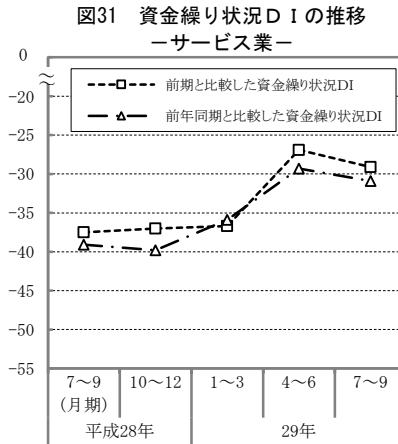
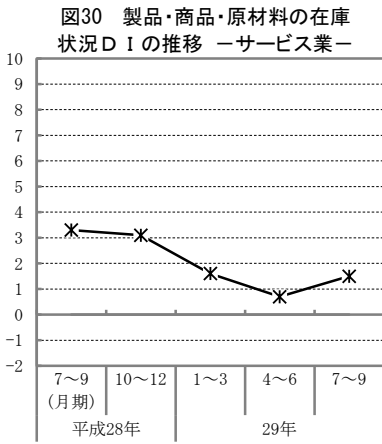
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.1 で、前期 (-26.9) に比べ、2.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)30.9 で、前期 (-29.3) に比べ、1.6ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.5 で、前期 (-5.2) に比べ、1.3ポイント「不足」が拡大した。



Ⅲ 営業収支

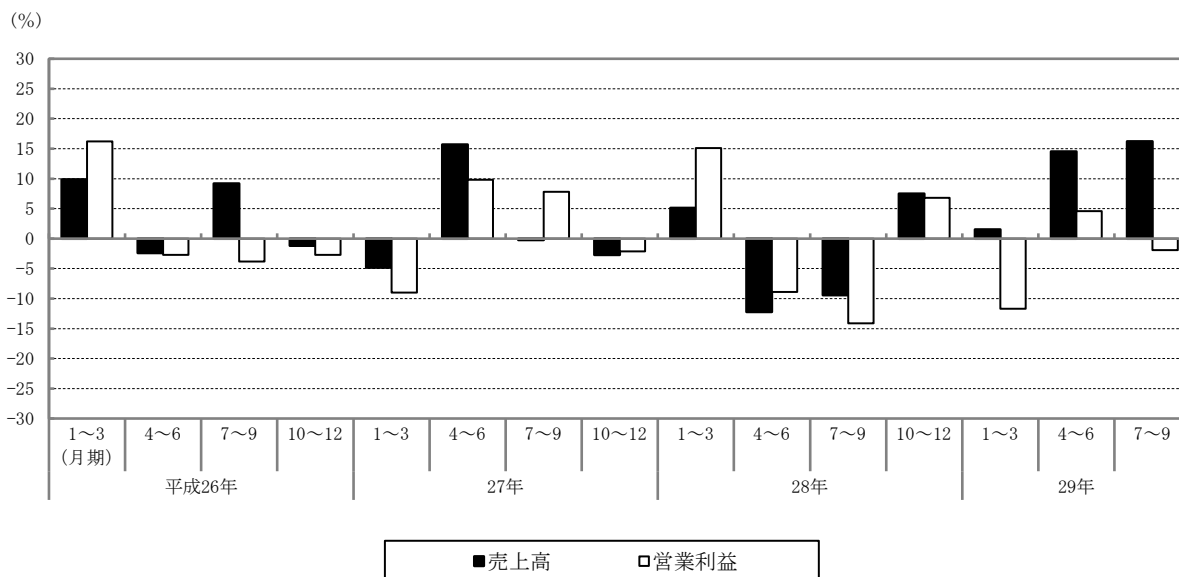
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は243万1000円で、これに対する費用は売上原価が89万4000円、営業費が96万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は56万9000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 16.2% で、4期連続で増加した。また、営業利益は(-) 1.9% で、2期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 製造業 —

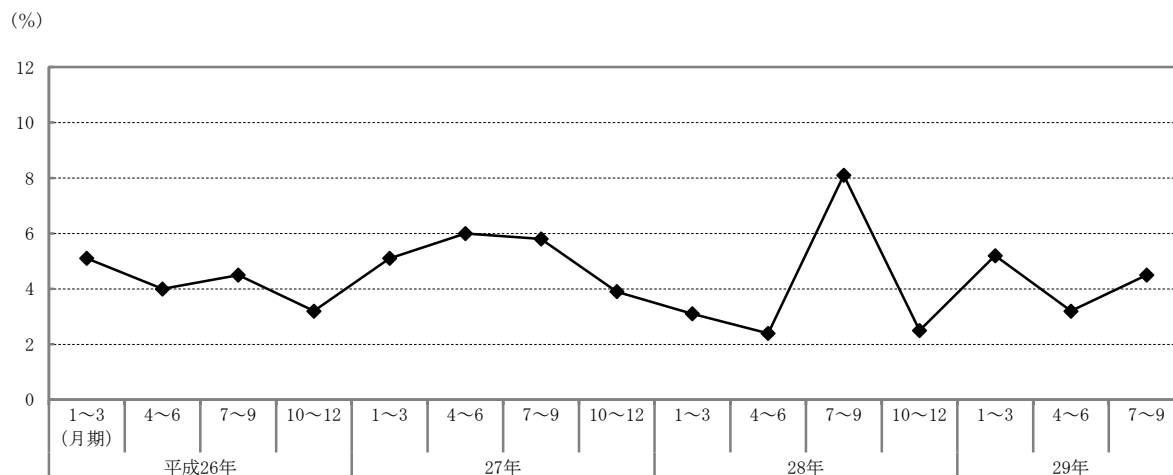


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は11万円です。前年同期(16万9000円)を下回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は 4.5% です。前年同期(8.1%)を 3.6 ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 — 製造業 —



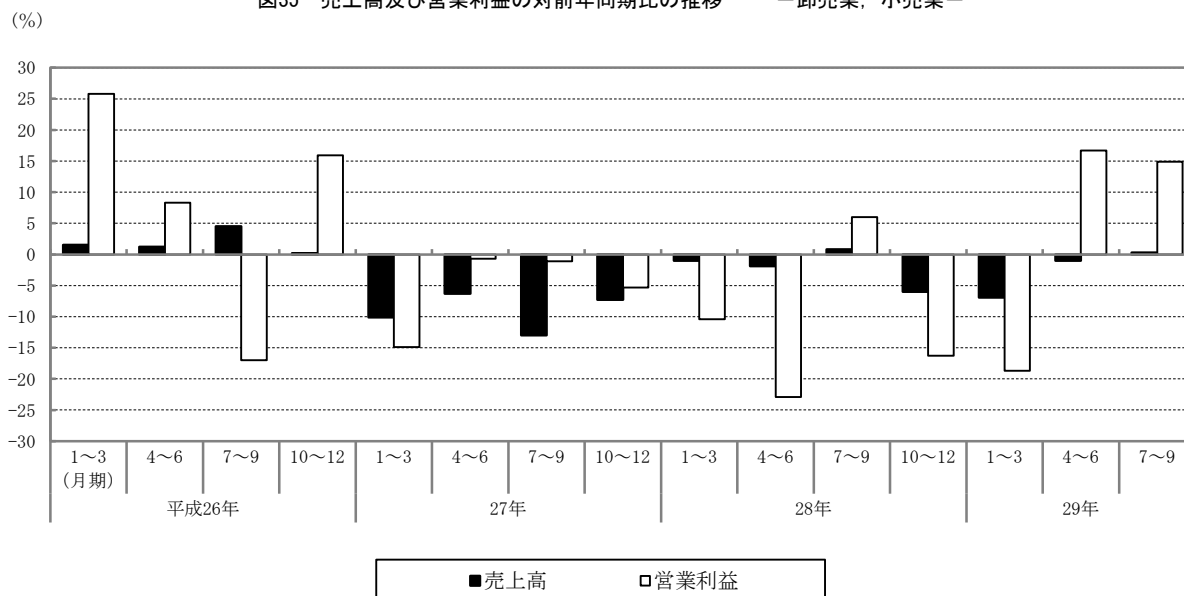
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は364万8000円で、これに対する費用は売上原価が241万8000円、営業費が78万4000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は44万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 0.3% で、4期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 14.9% で、2期連続で増加した。

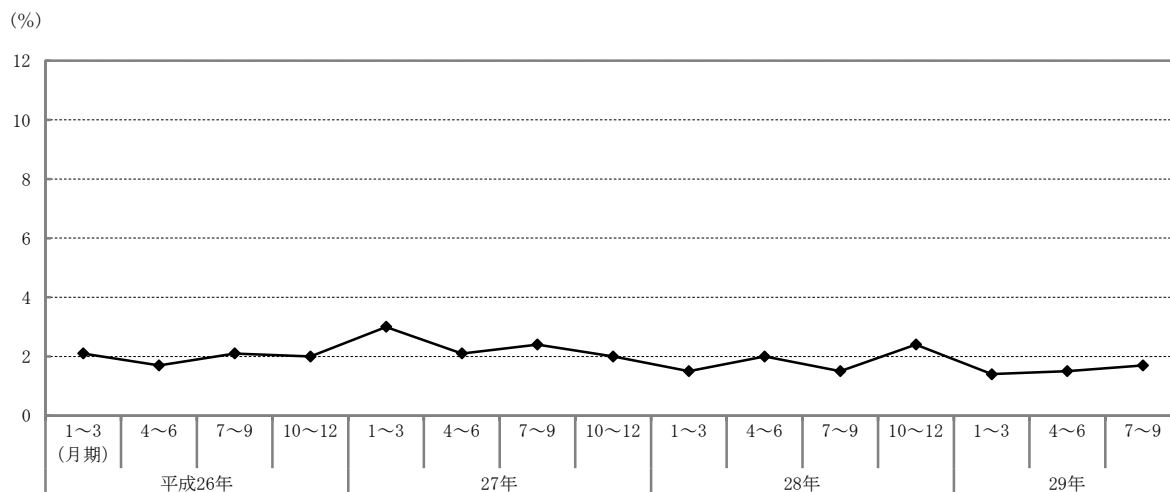
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万3000円で、前年同期(5万6000円)を上回った。また、設備投資率は 1.7% で、前年同期(1.5%)を 0.2 ポイント上回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



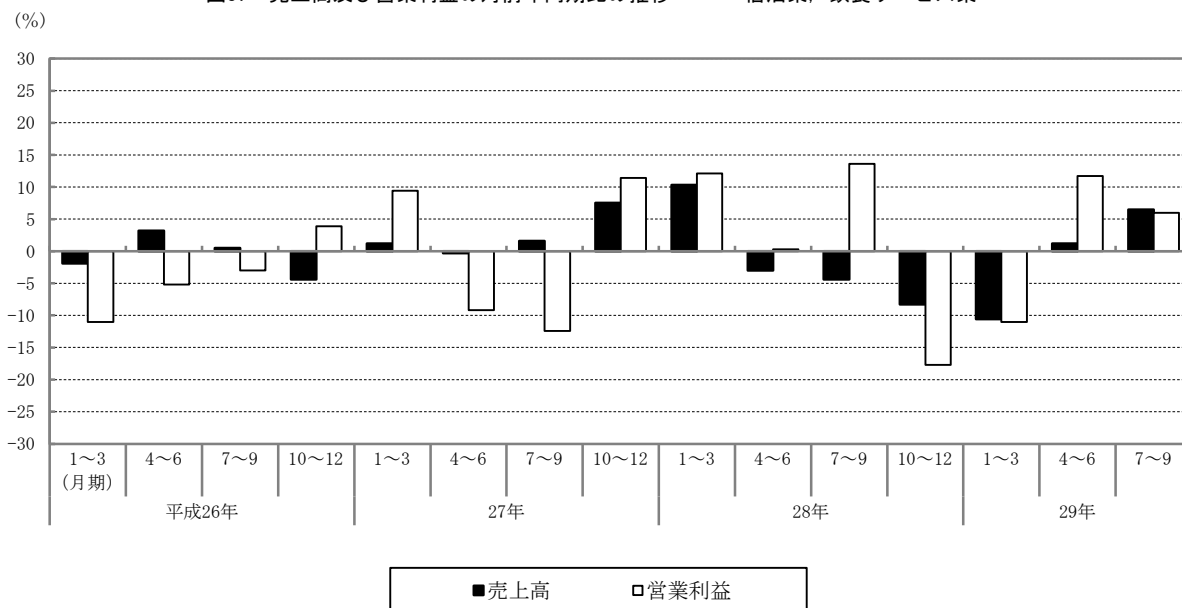
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は224万5000円で、これに対する費用は売上原価が93万3000円、営業費が86万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は44万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 6.5% で、2期連続で増加した。また、営業利益は(+) 6.0% で、2期連続で増加した。

図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー

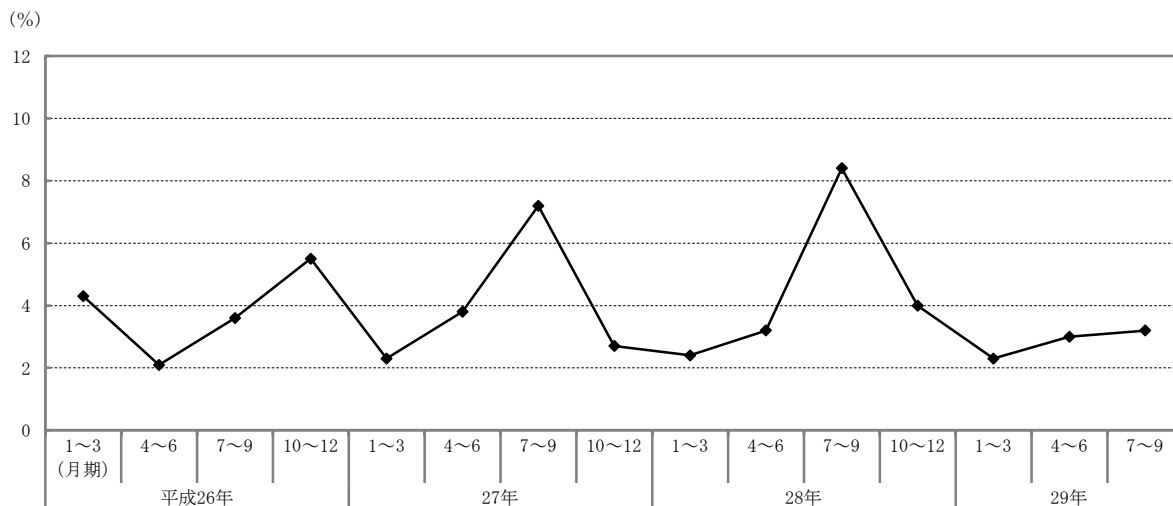


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万2000円で、前年同期(17万7000円)を下回った。

また、設備投資率は 3.2% で、前年同期(8.4%)を5.2ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



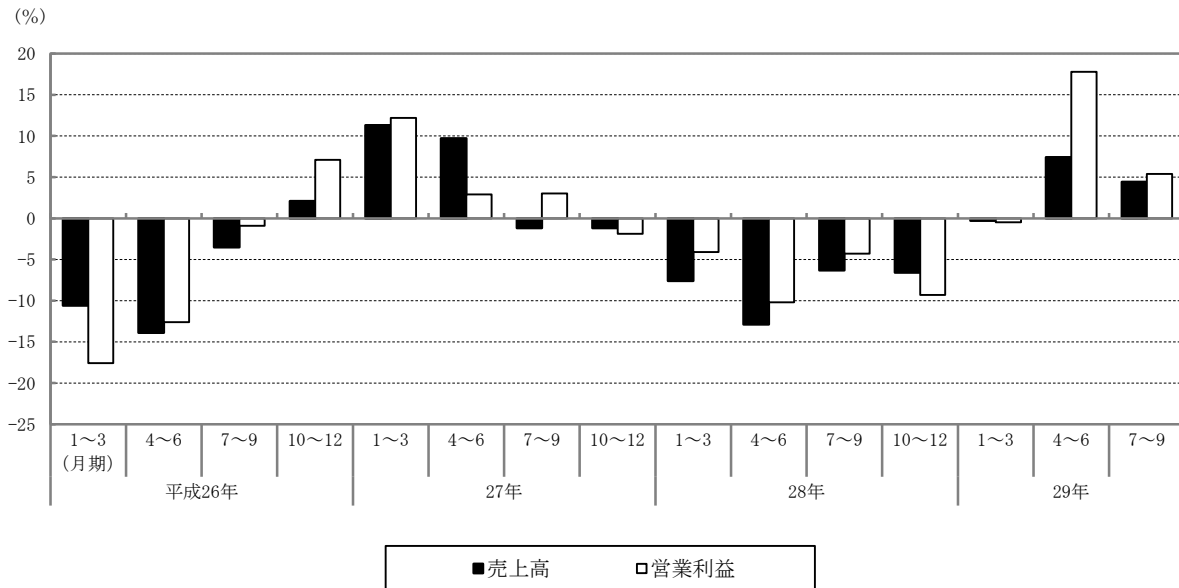
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は118万9000円で、これに対する費用は売上原価が18万7000円、営業費が55万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は45万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 4.4% で、2期連続で増加した。また、営業利益は(+) 5.4% で、2期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は3万3000円で、前年同期(3万6000円)を下回った。また、設備投資率は 2.8% で、前年同期(3.2%)を 0.4 ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

